

教材リサーチⅡ

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

久世 均(岐阜女子大学)

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

【目的】

活動についての親子のコミュニケーションの状況を調査し、親子の共同学習として、どのような指導方法、展開をさせるか検討する必要がある。そこで、この「動く紙おもちゃ作り」の教材化とコミュニケーションの意識の調査を考える。

【学修到達目標】

- コミュニケーションの定義について説明できる。
- コミュニケーションを促す講座の設計について説明できる。

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

教材化と意識の調査

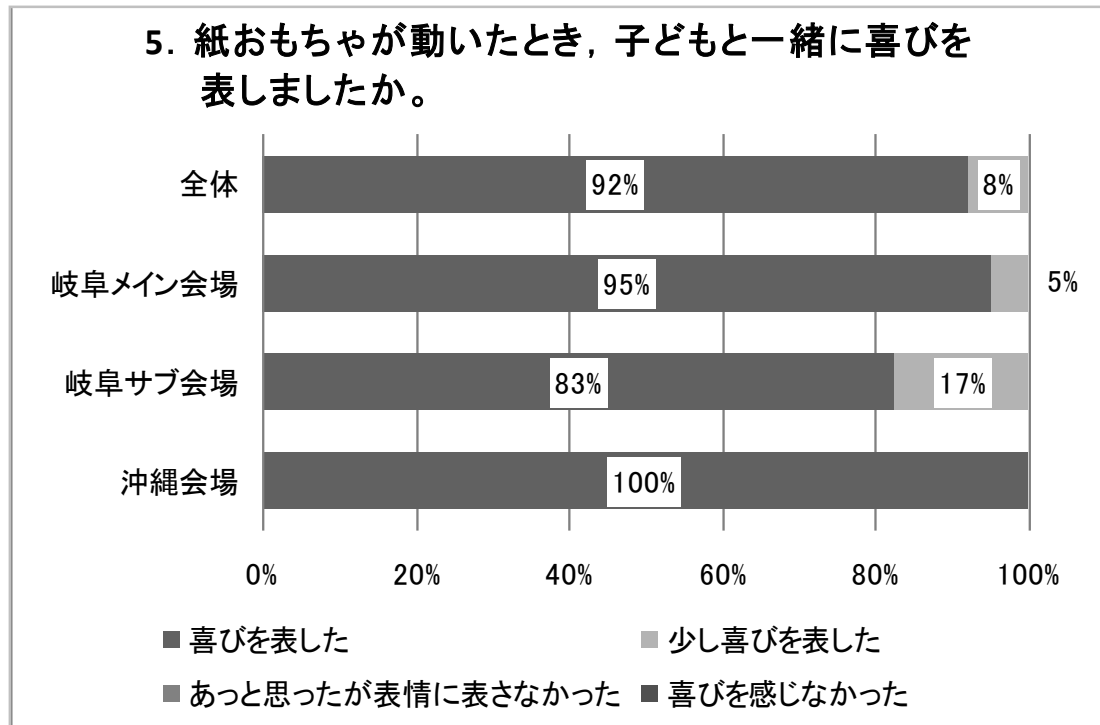


図1 感動体験

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

教材化と意識の調査

I. (1)～(6)の作り方の説明ついて、あてはまる番号に○をつけてください。

	分かりやすかった			分かりづらかった		
1. 「コマ」	1	2	3	4		
2. 「カラカラ」	1	2	3	4		
3. くるくる紙トンボ	1	2	3	4		
4. ネコ	1	2	3	4		
5. おばけ	1	2	3	4		
6. インコ	1	2	3	4		

II. 以下の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. このおもちゃづくりのように、幼児・児童教育における「ものづくり」活動についてどう思いますか。
①必要である ②やや必要である ③あまり必要でない ④必要でない

2. 「紙おもちゃ」は、学習教材として効果的だと思いますか。
①効果的 ②やや効果的 ③あまり効果的でない ④効果的でない

ご意見（どのように活用できると思われますか。）
例：幼稚園での「表現」の中の「いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ」において活用できる。

3. またこのような機会があれば参加したいと思いますか。
①是非参加したい ②参加したい ③あまり参加したくない ④参加しない

4. 「紙おもちゃづくりを学ぶ」に参加されて、この講座に対してどのようなイメージを持たれましたか。（答え方の例：「取り組みやすい感じ=1 を選べば最もそう感じ、5 は難しく感じる」ということです。）

(1) 取り組みやすい感じ	1	2	3	4	5	難しい
(2) 楽しい感じ	1	2	3	4	5	つまらない
(3) 明るい感じ	1	2	3	4	5	暗い
(4) 活発な感じ	1	2	3	4	5	静か
(5) 変化に富む	1	2	3	4	5	ありきたり
(6) 考えが広がる	1	2	3	4	5	広がりはない
(7) 新鮮な感じ	1	2	3	4	5	古い感じ
(8) 奥が深い	1	2	3	4	5	浅い
(9) 飽きない	1	2	3	4	5	飽きる
(10) 共同活動向き	1	2	3	4	5	個人向き

(誰かと一緒にやるとよい) (一人で取り組む)

図2 アンケート項目

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

教材化と意識の調査

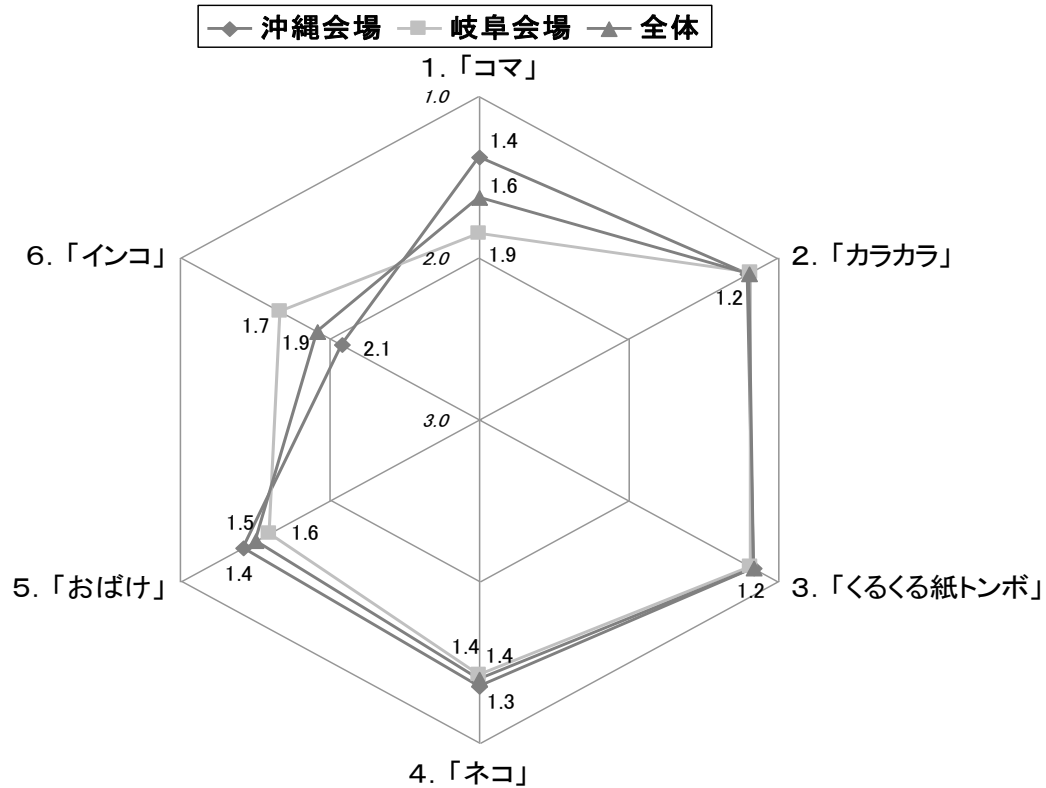


図3 作り方の理解度

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

教材化と意識の調査

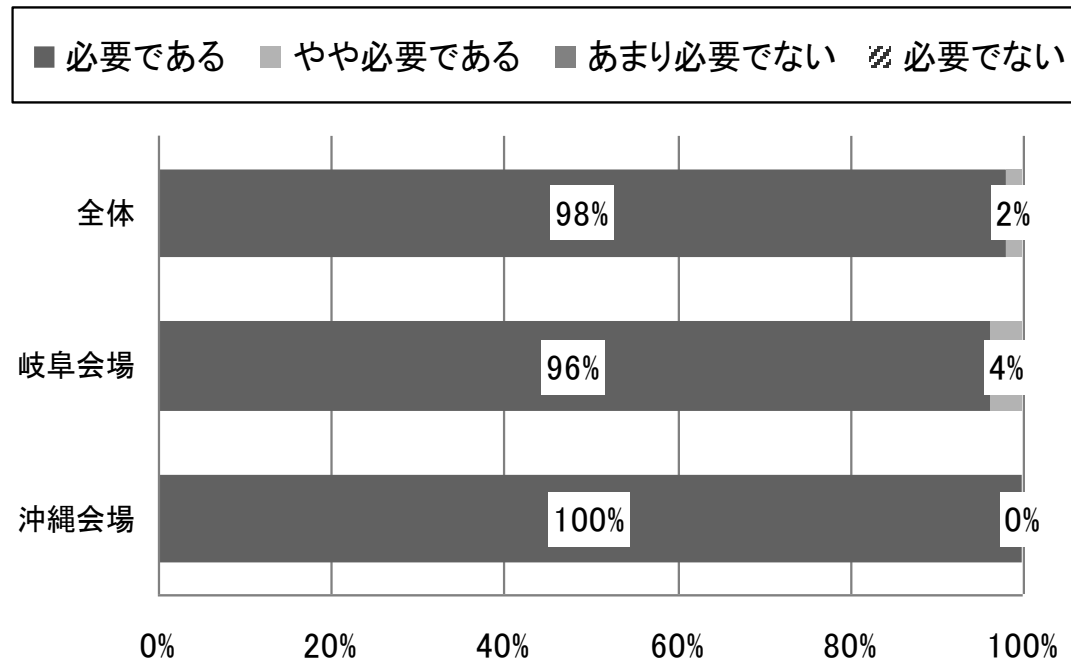
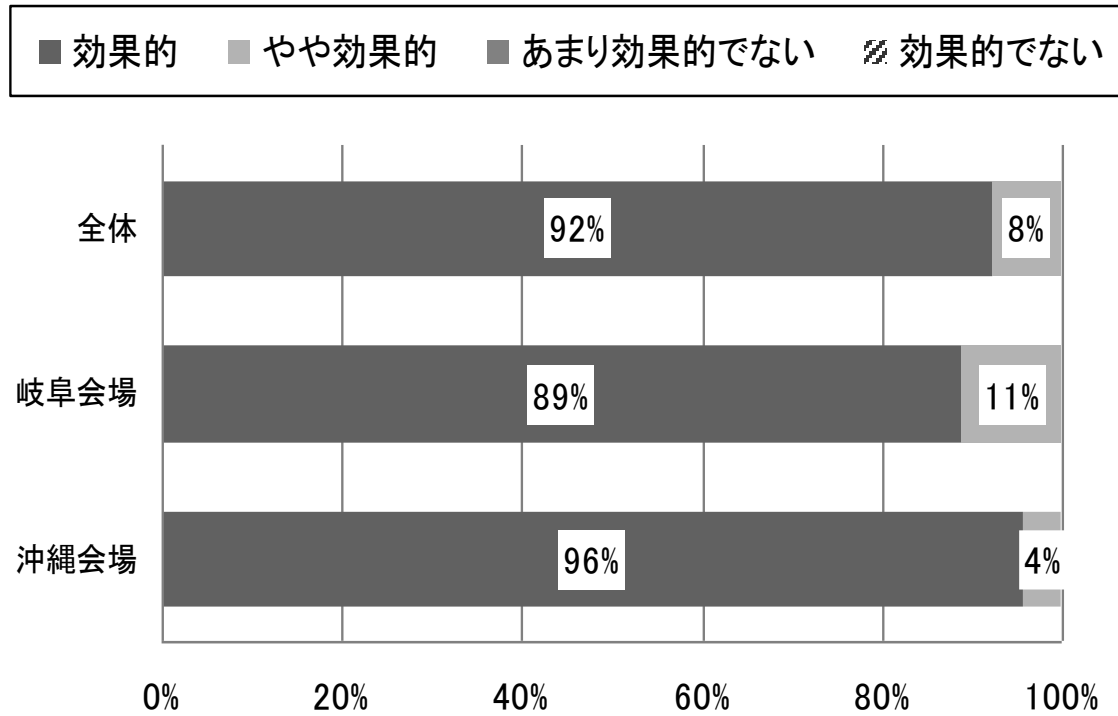


図4 「ものづくり」活動の必要性

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

教材化と意識の調査



第16講 「コミュニケーションを可視化する」

教材化と意識の調査

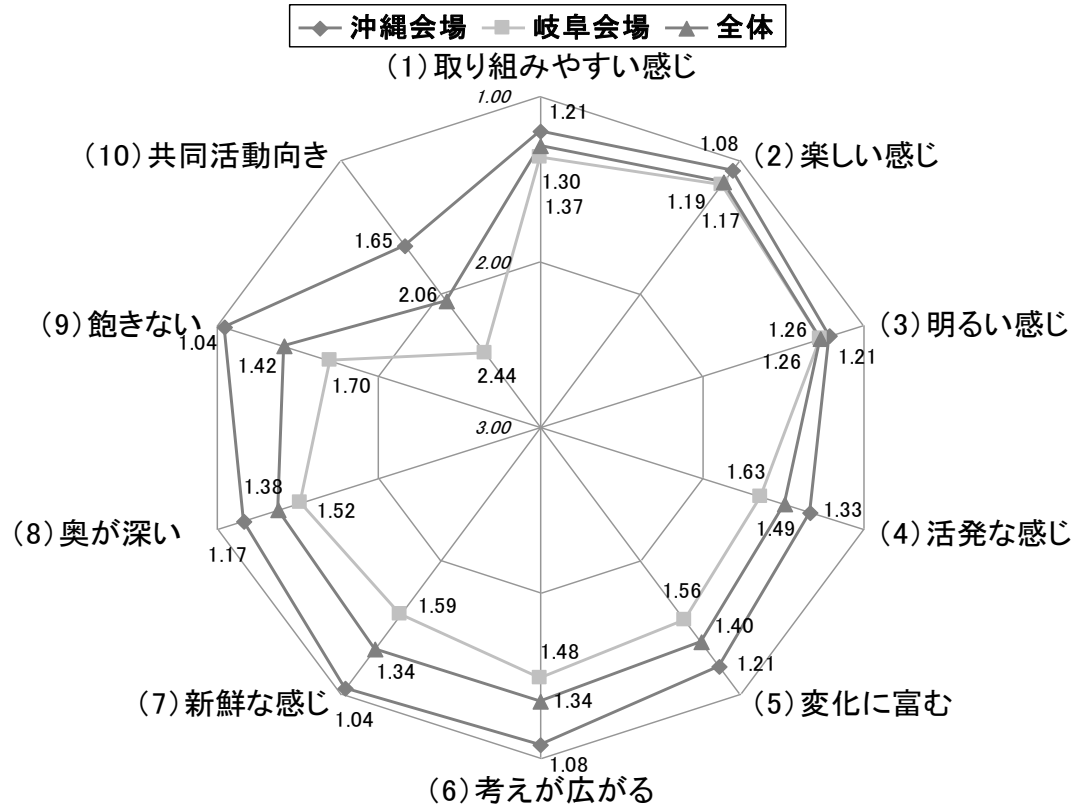


図6 講座に対するイメージ

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

教材化と意識の調査

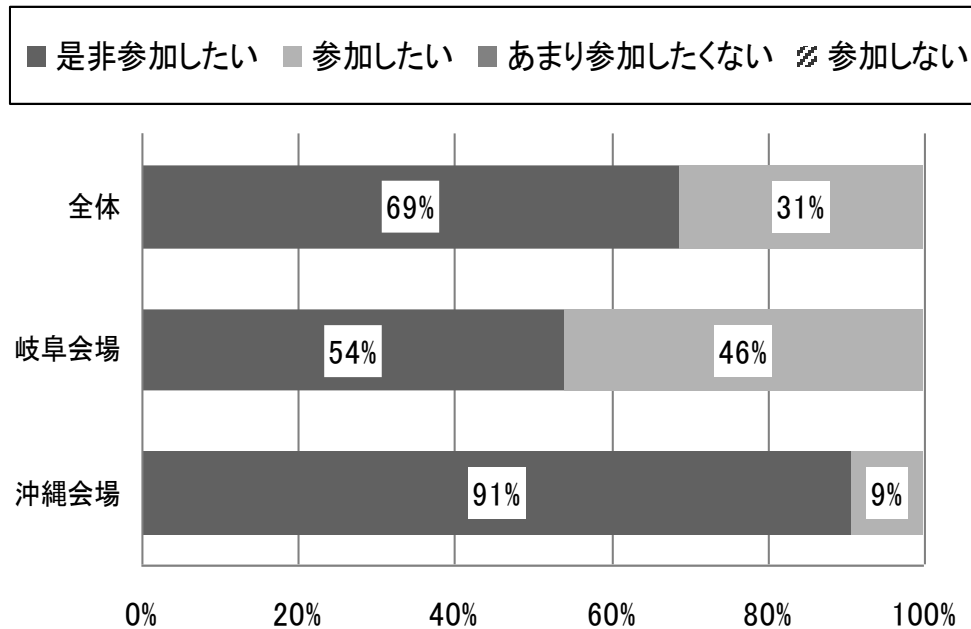


図7 今後の教室への参加意思

課題

1. コミュニケーションの定義について説明しなさい。
2. コミュニケーションを促す講座を設計しなさい。
3. コミュニケーションに関する独自の調査用紙を作成しなさい。

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

【目的】

活動についての親子のコミュニケーションの状況を調査し、親子の共同学習として、どのような指導方法、展開をさせるか検討する必要がある。そこで、この「動く紙おもちゃ作り」の教材化とコミュニケーションの意識の調査を考える。

【学修到達目標】

- コミュニケーションの定義について説明できる。
- コミュニケーションを促す講座の設計について説明できる。

教材リサーチⅡ

第16講 「コミュニケーションを可視化する」

久世 均(岐阜女子大学)